

近畿ブロックウィンタースポーツ 報告書

作成者

山本優（RCJ 奈良県連盟代表）

小田村利高（RCJ 滋賀連盟代表）

戸谷明寛（RCJ 大阪連盟代表）

吉岡聖（RCJ 和歌山連盟副代表）

1. 目的

ブロック内のローバー年代の交流および活動情報の共有

2. 目的に対する評価反省

参加人数が少なかったこともあり、参加者全員が他の参加者全員と話すことが出来ていたため交流は達成できた。また、懇親会の時などに各自の RS 活動のことなど話すことが出来、情報共有も達成できた。

3. 目標

- 1, 全員が怪我なく健康に楽しく過ごすこと
- 2, 参加者全員が連絡先を交換し、次回以降の企画に継続して参加してもらえるようにすること
- 3, 交流を通じて各自が目標達成（スカウティング）をする助けとなること

4. 目標に対する評価反省

- 1, 初心者の参加者が別の参加者と衝突する事故があり、初心者側が擦り傷を負った。初心者は、滑ることに集中し周囲に気を配るのが難しい。したがって、担当者を決め（特に、今回は班内で）常に気を配る必要があったかと思われる。
- 2, Line を通じて全員が連絡を取っていたため、連絡先の交換は達成できた。次回以降の企画に継続的に参加してもらうことまでは運営委員・参加者が考えられていなかったように感じた。そのため未達成であった。
- 3, 交流は達成でき、かつ情報共有も達成できた。よって、今回得た経験は各自が今後のスカウティングを行うことの助けとなると言える。つまり、目標は達成できた。

5. 活動展開場所

ハチ北スキー場

〒667-1344 兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 5801

6. 活動展開日時

平成 29 年 2 月 18 日 13:00～2 月 19 日 16:30

7. 実施までの行動結果

- 9 月度会議 計画書一度提出
- 11 月中旬 案内配布
- 11 月末 計画書完成、
- 1 月初頭 申し込み締め切り
- 2 月 16 日 最終打ち合わせ

8. 会計報告

参加費計 ¥150,000 (@10名)
宿泊費▲ ¥87,500
リフト券▲ ¥45,000
プログラム費▲ ¥4,006

収支 ¥13,494

9. 参加者

名前	連盟	地区	性別	年齢
山本 優	奈良	まほろば	男	24
森田 真弘	奈良	まほろば	男	25
石原 寛隆	大阪	なみはや	男	21
山東 佑紀	大阪	きたおおさか	女	19
佐坂 美月	大阪	みしま	女	19
羽田 瞳	滋賀	湖西	女	24
羽田 健太郎	滋賀	湖西	男	23
平野 鉄馬	滋賀	湖西	男	22
山本 菜生	滋賀	湖南	女	19
吉岡 聖	和歌山	紀北	男	20

実施責任者 小田村利高 090(3278)1992 o.toshi1017@gmail.com

現場代表者 山本 優 090(6320)1354 jp3dsx@gmail.com

10. タイムスケジュール

2月19日（土）

13:00	受付開始	ハチ北ラドン温泉 さかえ
13:30	集合、開会式	
14:00	プログラム① アイスクリーム作り	ハチ北スキー場
15:00	プログラム② 雪合戦	
17:00	休憩	ハチ北ラドン温泉 さかえ
18:00	夕食	
19:10	自由行動 各自、入浴等	
21:00	親睦会	
23:00	消灯	

2月20日(日)

7:30	朝食	ハチ北ラドン温泉 さかえ
8:00	朝礼	
8:15	活動準備 用品レンタル等	
9:00	プログラム③ スキー訓練	ハチ北スキー場
12:00	昼食	
12:45	プログラム③ スキー訓練	
13:00	スキー訓練へ変更	
15:00	休憩・レンタル返却	ハチ北ラドン温泉 さかえ
16:00	閉会式、解散	

11. 評価反省

アイス作りへの評価反省

問題点	原因	次回への対策
液体が凍らず、アイスを作成させられなかった	缶を蹴る時間が短かった	完成のためのより具体的かつ正確なレシピを用意すること
作成をリフト横の場所で行ったため、危険であった	缶を蹴られるほど広い場所を事前に調べて行わなかった	事前にスキー場・宿の周辺を調べ、広い場所を調べておくこと

2日目スキー訓練への評価反省

問題点	原因	次回への対策
最初から最後まで班行動が出来なかった	班での活動を全員が意識して行動できなかった	1日目のプログラムから班で活動するようにし、活動全体を通して班で動くことを意識できるようにすること
スピードレースの実施を行えなかったこと	コースの選定やレースの評価基準の設定が出来なかった	事前にコースの形状を調べ、どのコースでどのような基準でレースを判断するのか決めておくこと

全体を通しての評価反省

問題点	原因	次回への対策
安全管理が十分でなかった	班での行動が出来ていなかったため、メンバーが安全な状態にあるのか確認出来ていなかった	班での活動をしっかりと行い、安全確認がとれた状態で活動を行うこと
全体的に下調べが不十分であった	仕事を明確にし、運営委員の中で分担することが出来なかった	運営委員が協力して、仕事を分担して行うこと

今回を踏まえて次回近畿ブロックでプロジェクトを行うにあたり、直していくべき点

- 早め早めに準備をし、やるべき仕事の明確化と下調べを十分に行ってから活動に臨むこと。期限の明確化を十分に行うこと。